

令和6年度 府中市立四谷小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）
第6学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	①熟語や文の中で、学習した漢字を使うこと。 ②主語、述語、修飾語の関係を理解すること。 ③文章を要約したり、要点をとらえたりすること。	①漢字学習の際、その漢字を用いた熟語や似た意味の漢字などと関連させながら指導する。【表現】 ②習熟を図る学習活動の設定や、文の構成に着目させた指導を行う。【決定・表現】 ③段落ごとの中心文を見つけたり、文章全体を一文でまとめたりする活動を取り入れながら指導する。【発見・表現】	C	C
算数	①分数の四則計算を正しく行うこと。 ②伴って変わる2量について、変化の規則性をもとに図や式で数学的に表現し、言葉で正しく説明すること。 ③立体の体積を適切な公式を選択し、筋道立てて求めること。	①分数を中心に基本的な計算の方法を理解できるよう、学習することと関連付けながら繰り返し計算演習を行うようにする。【表現】 ②伴って変わる2量について、変化や特徴を正しくおさえ、筋道立てて考えたことを自分の言葉で過不足なく表す学習活動を行うようにする。【決定・表現】 ③体積を求める公式の意味を理解し、問題や図から必要な数値を読み取り正しい公式に当てはめる演習を行うようにする。【決定・表現】	C	B
理科	①問題解決の見通しをもちながら観察・実験を行うこと。 ②観察や実験の結果を、問題や予想などに照らし合わせて考察すること。 ③観察・実験で使用する器具の使い方を理解し、正しく扱うこと。	①問題を見い出す活動、観察・実験の計画を立てる活動を充実させ、興味関心や問題意識を高める。【発見】 ②結果を、表やグラフに整理させる。また、読み取ったことを自分の予想と照らし合わせたり、他者と交流したりして、多面的に考えさせる。【表現・対話】 ③ICT 機器を有効に活用し、児童が器具の使い方を視覚的に理解できるようにする。【発見】	C	B
社会	①政治に関する興味・関心をもつこと。 ②歴史上の人物とその功績、当時の時代背景を正確に理解すること。 ③資料から問いを見出し、学習問題をつくらうとすること。	①児童にも身近なことを教材として扱い、興味・関心をもたせる指導を行う。【発見・表現】 ②分かりやすい資料を精選・提示したり、前の時代や現代と比較したりする活動を取り入れ、なぜその人物がそのようなことをしたのかを当時の時代背景と関連付けながら指導する。【発見・表現】 ③問いが生まれやすい資料の精選や提示の仕方の工夫、児相同士の相談活動を取り入れる。【発見・対話・表現】	C	B
音楽	①曲想に合う歌い方や演奏の仕方を工夫すること。 ②互いの演奏を聞き合ったり、自分たちの演奏を聞いたりしながら、自分達の演奏を分析すること。 ③演奏すること、表現することの楽しさを知ること。	①楽譜に書かれている情報を読みとる学習や、歌詞と音楽との関係性を考える学習を多く取り入れる。曲想を表現するための楽器の奏法や歌唱法を学ばせる。【発見】 ②ICT 機器を活用し、曲想に合わせてどのように演奏したいか、どんな工夫ができるかといった意見交流をしたり、録画した自分たちの演奏を見たり聞いたりし、自分たちの演奏を客観的に聞き、分析できるようにしていく。【対話】 ③演奏する楽しみ、表現する楽しみを味わえるような教材や活動を工夫し、子供たちが笑顔で音楽を楽しめる授業を行う。【表現】	B	B
図画工作	①既習の知識や技能を活かして表現豊かに活動すること。 ②自ら目標や課題を設定し、主体的に取り組むこと。	①既習の学習を振り返る場面を設定したり、自分の表したい主題や内容と照らし合わせて材料や用具を選択したりする場面を設定する。【発見・対話・表現】 ②児童の興味・関心、生活などと題材を関連付け、自ら目標や課題を設定する態度や力を育てる。【決定】	B	B

令和6年度 府中市立四谷小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

家庭	①裁縫における様々な技能に個人差があること。 ②学習したことを生かして、家族の一員としてできることを増やすこと。	①ICT機器を活用し、ポイントとなる部分を焦点化して見せる。また、教え合いを通して、技能を定着させる。【発見・表現】 ②家庭で試したり、役立たせたりするため、チャレンジカードを活用する。また、家庭での実践を授業で報告し合い、共有することで、その後の活動に意欲をもたせる。【決定・対話】	C	B
体育	①運動の仕方を理解し、基本的な技能を身に付けること。 ②自分に合った運動の課題やめあてをもち、運動方法を正しく選択すること。 ③毎時間の運動量に個人差があること。	①ペアやグループ学習、ICT機器を活用し、自己の課題を把握したり教え合ったりしながら、より正確な動きを身に付けられるようにする。【対話・発見】 ②段階的に技能を習得できる場を設け、自分に合った運動を選択できるようにする。【決定・表現】 ③主運動につながる基礎感覚作りの運動を毎時間継続的に行う。また、場の数やチーム・グループ内の人数を工夫することで、一人一人の運動時間を確保していく。【表現】	C	C
外国語	①語彙・発話量の向上し、基本的な英語表現を理解すること。 ②基本的な英語表現を理解し、児童の語彙の量が向上すること。	①発話量を増やすためには、語彙の獲得が重要であり、語彙の獲得のためには、繰り返しの練習が必要であるため、デジタル教材用いて、繰り返し練習できるような教材を準備する。【発見・表現】 ②語彙の練習、復習を同じ流れで毎時間行い定着を図る。授業の初めを復習時間にあて、既習事項と本単元に関する英語表現を確認する。【対話・表現】	B	B

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。